

## 自分の感覚でデンマークの福祉を感じることができた

＜時間がゆっくり流れていていいな＞

レポート：富山 佳菜

### ★勢いで行くことを決めた研修

私がデンマークに行こうと思ったきっかけは、なんとなく福祉が発達している国と有名な国はどのような感じなのかということを実際に見てみたかったからです。半ば勢いで行くことを決めた研修でしたが、実際に行ってみて自分の感覚全てでデンマークの福祉を感じ取ることが出来たのかなと思いました。

### ★一人一人が大切にされている

いろいろな訪問先に行ってみて感じたことは、一人一人がきちんと大切にされているということでした。福祉が発達しているということは、施設が整っているということだけではなく、一人一人が大切にされているという考え方が根本にあるからこそではないかなと感じました。

それは施設を利用する人だけでなく、そこで働く人にも働く人を思いやった労働環境がありました。例えば補助器具センターでは、車椅子を調節するのにその人がしゃがまなくていいように作業台に工夫がされており、腰を傷めないような作りになっていました。このような人を思いやる設計のおかげで、離職する人を減らしたり、職場のストレスを軽減させたりすることがしっかりなされているということを感じました。

### ★自分のことは自分で決める

また、幼い頃から自己決定ということさせおき、結婚も事後報告のときもあると聞い



＜高齢者住宅のリュウケさんと＞

たときは驚きました。自分のことは自分で決めるということから責任を持った行動を取れるようになるのではないかと思います。そして、それは自由な発想や固定観念にとられない考え方にも繋がるのではないかと思います。

### ★実際に行ってみると

今回海外に行くのが初めてだったので、日本と違うというだけでこんなにも違うことが自分の中でとても驚きであり、とても興味深かったです。海外のことはニュースで知ることしか出来なく限られた情報しか目にすることができなかつたので実際に行ってみるといふことの大切さを痛感しました。



<補助器具センターにて>

朝の散歩でも日本では通勤する人や散歩をする人がいる時間でしたが、デンマークでは外に人が殆どおらずとても静かな朝でした。時間がゆっくりであるということは行く前にも聞いていましたが、どのようにゆっくりなのかということは朝の散歩を試みなければ気がつかないことであると感じました。

### ★日本という国を客観的に見る

デンマークという国に滞在した日数はとても短く、その中でどれだけのことが吸収できたのか感じる事が出来たのかまだ自分の中で消化しきれていない部分もありますが、しっかりと身になっていると感じました。

日本だけでなく他の国も見てみることで日本という国を客観的に見る事が出来ました。まだまだ、日本は改善できる部分が多くあるのではないかとするような可能性を感じられるように思いました。

### ★日本には日本に合った福祉のあり方を

説明会のときに言われたようにデンマークの良い部分すべてを日本が真似るということは出来ないので、日本には日本に合った福祉のあり方を作っていくべきではないかと考えました。

高齢化が進むのは先進国でほとんど起きている状況であり、日本がどのような対応を行うのか他の国々はきっと注目しているので、他の国のお手本になるような対応ができるような福祉体制を整えていけるように、私達がきちんとした知識と現代に合った制度を作っていかなければならないなと感じました。

私はこの研修に行って多くのことを学びそして感じる事が出来ました。沢山の人と関わり、施設を見ることでとても楽しくこの研修を終える事が出来ました。もし機会があればまた行きたいと思えるほどの素晴らしい日々を過ごす事が出来て良かったです。



<ベアナドッテゴードンにて>